



美術部門テーマ展示Ⅴ

濱田台兒 生誕百年 展

2017.

2.25 - 3.26

休館日：3月21日(火)

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

会場：鳥取県立博物館 2階近代美術展示室

観覧料：一般180円（20名様以上の団体150円）

※次の方々は無料です。 70歳以上の方 ○大學生以下

学校教育活動での引率者 □障がいのある方・要介護者等及びその介護者

主催：鳥取県立博物館



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

美術部門テーマ展示V

濱田台兒展 生誕百年

日本画家・濱田台兒(大正5年～平成22年、本名、健一)は現在の鳥取市気高町浜村に生まれました。昭和10(1935)年に上京、伊東深水に師事し美人画を中心に学びました。戦争の激化に伴い、昭和12年軍隊に入営して大陸に出征します。しかし、翌年3月山東省最南部での台兒荘の戦いで瀕死の重傷を負い、内地に送還され2年あまりの入院療養生活を送りました。退院後は織維問屋の図案部に籍を置き、洋画家の須田國太郎に色彩論などを学びながら日本画の制作を続けました。

昭和16年、新文展に初入選、翌年には《黄流》が特選となります。その後も新文展・日展を中心に活躍し、昭和37年には日展会員に推挙されました。昭和55年には、文化使節団として赴いたロシア(旧ソ連邦)での体験をもとにした《女辯護士》が日本芸術院賞を受賞し、平成元(1989)年、日本芸術院会員となります。日展審査員、評議員、理事を経て、平成7年から2年間理事長を務めました。

このたびの展覧会では、当館と鳥取県内の機関・個人が所蔵する作品を中心に、初期から晩年までの作品により、濱田台兒の画業を見つめ直します。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 表紙 女辯護士 1979年 鳥取県立博物館蔵 | 1 桐泉 1951年 鳥取市立浜村小学校蔵 |
| 2 雨池 1955年 米子市美術館蔵 | 3 海女母 1964年 米子市美術館蔵 |
| 4 花容 1976年 鳥取県立博物館蔵 | 5 花菖蒲 2000年 鳥取県立博物館蔵 |
- ※いずれの作品も濱田台兒筆、紙本着色



鳥取県立博物館



交通のご案内

◎JR鳥取駅からバスで ▶100円バス(くろコース)で(例)「風流 県立博物館」下車すぐ ▶ルーフ創設後7Aコース(土日祝のみ)「鳥取城跡」下車すぐ
 ▶錦丘、湖山、資羅方面(行)西町、下車約400m ▶市A回り道巻、中河原方面(行)「わらべ館前」下車約600m
 ◎鳥取空港から 鳥取駅行連絡バスで(西町)下車約400m ◎お車で 鳥取自動車道 鳥取ICより15分
 ※当館駐車場21台駐車可能(なるべく公共交通機関をご利用ください)

関連事業のご案内

ギャラリートーク：2月26日(日)、3月25日(七) 午後2時～
 申込不要(直接展覧会場にお越しください)
 要観覧料

企画展のご案内

ミュージアムとの創造的対話 vol.1
 MONUMENT / DOCUMENT

平成29年2月25日(七)～3月20日(月・祝)

観覧料：一般600円(20名様以上の団体400円)

☆同展チケットをお持ちの方は、同日に限りテーマ展示V「濱田台兒展」もご覧いただけます。



鳥取県立博物館

TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124 TEL 0857-26-8042 FAX 0857-26-8041
 http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm E-mail hakubutsukan@pref.tottori.jp